

サミティヴェート病院スクムビットでご出産予定の皆さまへ

(2020年3月26日発信)

新型コロナウイルスの感染が当地でも拡大を続けている状況から、タイ、日本のどちらで出産するのが良いか、というご質問が増えてまいりました。

- **新型コロナウイルス感染がタイでも拡大し、妊婦健診のために病院に行くのが不安です。**
- **新型コロナウイルスが拡大している状況で、病院のキャパシティを理由に分娩を断られることはありませんか？日本へ帰国した方が良いでしょうか？**
- **病院のキャパシティを理由に、出産パッケージの宿泊日数が短縮されたりはありませんか？**

これらのご質問への回答として、当院の対策と方針を下記にお知らせします。

サミティヴェート病院スクムビットでは、新型コロナウイルスへの対策として3月26日現在、下記の対応を行なっています。

- **新型コロナウイルス関連で受診される方への対応として、外来機能は呼吸器症状特設クリニック(ARI)として院外の区画に移動。感染疑いのある患者さんと、妊婦健診の方の外来とは動線や待合室を完全に分離。**
- **病棟再編を行い、コロナウイルスに限らず感染症状のある方、症状はないけれども経過観察だけしている方を、一般的な疾患の入院病棟と分けて運用。**
- **感染や発病の方が爆発的に増加した場合の緊急避難として、グループ病院に日本語が通じる転院先を確保すべく準備中。**

上記の対策は、「新型コロナウイルスが今後どれだけ蔓延したとしても、通常の病院機能を犠牲にしない」、通常の医療サービスは平常通り提供していくという病院の姿勢を示しています。特に、産科、小児科部門は、タイにお住まいの日本人の皆さんへの医療サービスとして欠かせないものと考えておりますので、分娩、産後、育児に対応するサービスは堅持します。

今後感染者数が爆発的に増え、日本人の妊産婦さん、お子さんが感染、発病した場合にも備える必要があります。幸い、当院には動線を分離できる3つの病棟区画があり、さらに最近の増改築の結果、現在稼働していないスペースや病室がふんだんにありますので、これらを活用して、通常の診療を損なわずに、新型コロナウイルスにも対応できます。また医療スタッフも相当数在籍しています。日本の病院で同じことが起きた場合より、突然の分娩中止などの事態は起きにくいと考えています。

あらゆる状況に対応できるよう、また、安心して病院を利用して頂けるよう日々計画を更新しておりますので、今後ともご意見、ご質問をお寄せください。

サミティヴェート病院スクムビット